

# 事業報告書

平成30年度

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

公益社団法人群馬県子ども会育成連合会

前橋市荒牧町2-12 群馬県青少年会館内

平成30年度は公益社団法人としての5年目となり、従来以上に公益性の高い運営が求められた。平成30年度は、子ども会活動の指導及び子どもの健全育成事業に重点を置くとともに、関係機関等との連携を強化し、事業の充実発展を図ってきた。以下、総括的に報告する。

## 1 連合会事業(公益目的事業)

### 1 子ども会事業

#### 1-1 子ども会活動の指導及び育成事業

##### ①認定講習会

##### ○子ども会指導者資格認定講習会

本連合会の活動趣旨である青少年の健全育成のための子ども会活動を、一層、充実・振興させるため、地域指導者の発掘及び養成事業として、標記研修会を本連合会の定める子ども会指導者初級・中級・上級認定講習会実施規定に基づき開催した。

##### ■初級

実施市町村	開催月日	会 場	認定数(名)
高崎市	6.3 6.17	高崎青年センター等	45
館林市	6.7 6.12 6.19 6.23	館林市文化会館 館林市郷谷公民館	8
伊勢崎市	5.27 6.3 6.17	伊勢崎市青少年育成センター	309
富岡市	6.10	富岡小学校体育館	173
みどり市	6.16 6.17	東毛青少年自然の家	4
安中市	5.19 5.20	妙義青少年自然の家	85
藤岡市	7.8	藤岡市総合学習センター等	32
桐生市	6.2	桐生市青年の家	42
前橋市	29.4~30.3	16 地区	650
		合 計	1348

■中級

実施団体	開催月日	会 場	認定数(名)
公益財団法人 青少年育成事 業団	2.9 2.10	群馬県青少年会館	4

■上級

実施団体	開催月日	会 場	認定数(名)
公益財団法人 青少年育成事 業団	2.9 2.10	群馬県青少年会館	0

○子ども会インリーダー講習会

県内子ども会の活動を振興するためには、その中心となるリーダーの果たす役割は大きいので、インリーダーを集め、グループ内でのリーダーとしての知識、技能を習得させた。

■インリーダー認定

実施市町村	開催月日	会 場	認定数 (名)
みどり市	6.16 6.17	東毛青少年自然の家	31
高崎市	6.17 他	吉井運動公園	117
桐生市	9.8 9.9	桐生市青少年野外活動センター	100
安中市	6.3 他	公民館等	198
前橋市	年間	公民館等	517
館林市	11.10 11.11	国立赤城青少年交流の家	14
		合 計	977

○ジュニアリーダー養成講習会

子どもの人間形成、特に社会的成長を図る上で、地域子ども会の果たす役割は極めて大きい。この地域子ども会の活動を一層、充実・発展させるためには、指導者はもちろんだが、ジュニアリーダーに期待するところが大きい。また、ジュニアリーダー自身にとっても、子どもの指導という経験を通して、自己の人間形成に役立つ面を多分に持っている。重要な役割を有するジュニアリーダーの確保とその資質向上を図るため実施した。

## ■ジュニアリーダー認定

実施市町村	開催月日	会 場	認定数 (名)
桐生市	4.21 4.22	桐生市青少年野外活動センター	25
伊勢崎市	6.3 6.4	伊勢崎市青少年育成センター	25
太田市	5.6 5.26 5.27	太田市社会教育総合センター他	14
太田市	6.2 6.3 6.9 6.10	東毛青少年自然の家等	174
安中市	2.16 2.17	妙義青少年自然の家	22
沼田市	5.26 5.27	北毛青年の家	8
太田市	11.10 11.11	東毛青少年自然の家	6
	合 計		274

■認定講習会(初級)、子ども会インリーダー講習会、ジュニアリーダー講習会実施市町村子連に対して各講習会ごとに1万円助成した。

■市町村での講習は行われているので、そのレベルアップと各認定講習会の増加に向けて、今後どのように取り組むのかの検討が重要である。

## ②県子連・県内大学生(専門学校生含む)ボランティア養成事業

県子連及び県内市町村育成会が主催する子ども会活動に、県内大学生(専門学校生を含む)をシニアリーダーとして受け入れるもので、子ども会活動の活性化とリーダー自身の資質向上とを併せて図ることができた。

・日時: ボランティア体験期間 平成30年6月～平成30年9月

・場所: 県内市町村(ボランティア受け入れ団体数 11団体。)

受け入れの団体数(前橋市5、高崎市2、伊勢崎市3、みどり市1)

○ボランティア体験講習会(シニアリーダー養成の事前研修)

・期日: 平成30年5月26日(土)

・会場: 群馬県青少年会館

・参加者: 12名。

・内容: 講習会は、子ども会活動の概要とボランティア、救急時の対応、レクリエーション等の内容で行った。

今年度より講習会が2日間から1日間に縮小になり参加者数が減ったため、ボランティア体験期間も12月までだったものが9月までに変更になった。

## ③上毛かるた審判・読み方講習会

上毛かるた競技県大会開催に向けて、県内各子ども会では、上毛かるたの練習や大会を開催している。そこで、上毛かるた競技についての審判や読み方の正しい知識を理解し、審判員の資質向上と上毛かるたの普及を図った。

・日時: 平成30年10月6日(土)

・場所: 群馬県青少年会館

- ・参加対象: 郡市町村子ども会育成者・指導者 子ども会関係者 県内大学生及び専門学校生等
- ・内容: 審判内容の基礎的事項の理解と、それを踏まえての体験を通しての講習を行った。読み方コースは読み方を学び、実際に声を出しての講習を行った。
- ・参加者: 97名(審判コース・初級者 68名、審判コース・経験者 15名、読み方コース 14名)
- ・審判コースは、初心者と経験者に分けて実施したので、それぞれの理解が深まった。なお、審判の仕方を視覚的に分かりやすくするための「絵」を配布したが、今回も好評であった。今後の講習の内容・方法を考える必要がある。

#### ④第 24 回子ども会活動体験作文コンクール

子ども会活動は、異年齢の仲間集団の中で豊かな活動体験を通して、子どもたちの成長を促す事を基本に活動を展開している。このような中で、今後の子ども会活動をさらに充実発展させるため、本事業を実施し、子ども会活動を奨励した。

- ・期日: 応募締切日 平成 30 年 9 月 14 日  
表彰式 平成 30 年 11 月 4 日(日)午前 10 時～12 時
- ・場所: 群馬県青少年会館
- ・参加対象: 県内小学生・中学生・高校生
- ・応募作文数: 856 点
- ・内容: 応募された作文は、審査委員会にて15点の優秀賞を選考した。また、優秀賞の発表は、本年度から、優秀賞となった児童・生徒の全員とした。(都合で発表者は 13 名であった。) 優秀賞には、表彰状、記念品を贈呈。コンクールに応募した児童・生徒には、参加賞を贈呈した。

#### ○表彰選考委員会の開催

- ・期日: 平成 30 年 10 月 6 日(土)午前 9 時 30 分～13 時
- ・場所: 群馬県青少年会館

#### ⑤群馬県子ども会育成連合会表彰

子ども会、子ども会活動の指導者・育成者等個人及び団体等に対して、その業績をたたえ、今後の一層の活躍を期待し、表彰した。表彰状、記念品を贈呈した。

- 対象: 単位子ども会、ジュニアリーダー組織、指導者・育成者、育成組織
- ・表彰数: 子ども会 20 団体、育成者・指導者 29 名、育成組織 19 団体
- 表彰式

- ・日時: 平成 30 年 11 月 4 日(日)午前 10 時～12 時
- ・場所: 群馬県青少年会館
- ・内容: 表彰式は、子ども会郷土芸能伝承発表会と合わせて実施した。平成 30 年度は高崎市の「神龍我峰太鼓」の皆さんによる演奏と踊りで、全員で元気に楽しく取り組んでいた。

#### ⑥第 72 回上毛かるた競技県大会

児童福祉の一環として児童憲章の示す「全ての児童は良い遊び場と文化財を用意され、悪い環境から守られる」の趣旨に基づき、「上毛かるた」を使用して、県下の子ども(郡市代表)が一堂に集い、楽しく競技を進め、また、高めあうことにより、青少年の健全育成に資するものである。なお、第 67 回大会から、群馬県、群馬県教育委員会との3者の主催で大会を実施し、今回で 6 回目となった。

また、団体戦の上位 6 チームの出場者全員には、昨年に引き続いて、記念のトロフィーを贈るようにした。

- ・参加資格: 各郡市において、予選で勝ち抜いた代表者または郡市子連会長推薦による代表者。

- ・期日:平成 31 年 2 月 9 日(土) 午前 8 時～午後 4 時
- ・場所:ALSOK群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館
- ・内容: 県内単位子ども会、各郡市町村大会に勝ち抜いてきた小学生、中学生による個人戦、団体戦により競技を行った。
- ・参加者・選手: 総合計 出場子ども会 118 団体 選手数 290 名

種 別	団 体		個 人	
	子ども 会数	選手 数	子ども 会数	選手数
小学校低学年の部	21	83	21	21
小学校高学年の部	21	82	21	21
中学校の部	18	67	16	16
計	60	232	58	58

審判員 121 名、係員・ボランティア 91 名、引率者 123 名、来賓等 25 名、他に応援の保護者、育成会役員等多数

#### ⑦第 24 回地域青少年育成アドバイザー認定講習会

子ども会地域指導者の資質向上と地域教育力の向上を図るため、本会の「地域青少年育成アドバイザー認定講習会実施規定」に基づき、地域における青少年アドバイザーを養成した。

- ・対象:市町村教育委員会が推薦する者
  - 退職教職員及び長年教職経験をもち青少年育成に理解のある者
  - 社会教育に携わり青少年育成に理解のある者
  - 県子連上級資格者及び子ども会育成経験者で県子連会長が推薦する者
  - 現在子ども会育成役員として活動している者
- ・日時:平成 30 年 11 月 10 日(土)、11 月 24 日(土)、12 月 8 日(土)、平成 30 年 1 月 12 日(土)、2 月 23 日(土)の 5 日間。  
いずれも午前 9 時開始で、1 コマ 90 分、1 日に 4 コマ。
- ・場所:群馬県青少年会館
- ・内容:講習会実施規定に基づき、講座内容を 6 系列、総時間数は 30 時間とし、青少年育成の有識者を講師に依頼して実施した。講座終了者には、県子連の修了証及び県知事の認定証を授与した。
- ・参加費:5000 円(資料代・食費等)
- ・認定者数 17 名

#### ⑧群馬県子ども会心の電話相談室

相談事業は各関係機関に多く設置されているが、公機関としては、日中の限定された時間に面談や電話によるものが多い。そこで、子どもの立場になって考えた場合、いつでも・どこからでも話せるもの、自分が主導権を持って話せるものが望まれる。本会の電話相談はその要件を満たすものである。

実施期間:毎月第 1 土曜日(少年の日)と第 1 日曜日(家庭の日)

午後 1 時 30 分～午後 8 時 30 分

相談内容:18 歳までの子どもの関するもの(本人、保護者、その他関係する者)

実施方法:相談電話回線 2 本

フリーダイヤル 0120-916-157 電話番号 027-260-7500

電話相談担当者は地域青少年育成アドバイザー認定を受けた元教員、地域教育に貢献している方、教育カウンセリング経験者である。1日、7時間を3時間半毎に分担し、2班編制とした。

相談に関する内容や事柄についての守秘義務を徹底した。

・平成30年度電話相談開設日

4月1日、7日 5月5日、6日 6月2日、3日 7月1日、7日 8月4日、5日  
9月1日、2日 10月6日、7日 11月3日、4日 12月1日、2日  
30年1月6日、12日 2月2日、3日 3月2日、3日

・電話受付件数 平成30年4月～平成31年3月の相談件数24件で、相談内容は、学校のこと、性のこと、体のこと、友達のこと等であった。なお、無言電話が61件となっていた。

・年間相談割当担当者数 28名(延140名。ただし、午後と夜間に渡った方は2名として、カウントしている。)

・電話相談担当者打ち合わせ会及び研修会の開催

期日:6月2日(土)、11月10日(土)

内容:電話相談の当番割り当てを行った。また、6月には研修会は行わず打ち合わせ会のみを、11月の研修会は県総合教育センターの西田麻規先生の「電話相談の基本的な理解」の講演と実技であった。

⑨第52回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会及び全国子ども会連合会中央会議・研究大会への参加

・関ブロ研究協議会(平成30年9月30日10月1日、栃木県)には48名が参加した。また、全国大会は、前年度中止になった滋賀県大会の代わりとして7月14日、15日に愛知県名で開催された。また平成31年度大会を別に行い2月23日から25日に石川県で開催された。

⑩県子ども会育成関係者研究協議会

研究協議会は、様々な関係者が一同に会し、全員参加の対話を通じて、学校・家庭・地域の役割を見つめ直すとともに、地域での子どもの育成や子ども会活動の役割を認識し、地域教育力の向上を図ることを目的に実施した。

本年度は、「支え合おう 心ひとつに 育てようぐんまの子どもたち～子どもの目が輝く、大人の目も輝く、楽しいワクワクの活動を考える～」のテーマのもとで、群馬大学大学院の音山若穂先生の指導で、ワールドカフェ方式で開催した。

・日時:平成30年9月1日(土)9時45分～12時30分

・場所:群馬県青少年会館プレイホール

・参加者:市町村子連からは69名であった。なお、前年度からは子どもも同伴できるようにしたので、3名の子どもが当日会場にみえた。この子どもたちへは、明和学園短期大学の学生が対応してくれた。

1-2 安全普及啓発活動

① 子ども会安全啓発(KYTを含む)初級指導者養成講習会

平成29年度から子ども会安全啓発初級指導者養成講習会と名称が変わった。内容も、子ども会活動に欠かせない安全教育として、子ども会KYT、防災、スポーツ活動中のケガ防止等と変更となった。指導者養成と安心安全な子ども会活動の充実振興を図るために本事業を実施した。

・日時:平成30年5月13日(日)午前9時～午後4時

・場所:群馬県青少年会館

- ・参加費:1,000円(テキスト代・昼食代)
- ・参加対象:郡市町村子ども会育成者・指導者 子ども会関係者 行政関係者 学校関係者 県子連上級指導者 地域青少年育成アドバイザー 子どもの育成のための安全教育に関心のある方等
- ・内容:講義「子ども活動における安全と安全教育」「産業界の安全対策」「スポーツ行事のケガ防止」「防災」子ども会KYT4ステップ」「子ども会5分間KYTのすすめ方」「子どもたちへの安全啓発指導」であった。
- ・参加者:55名
- ・講師:県内で安全啓発中級指導者資格を要する8名が講師・認定委員を務めた。

## ②公益社団法人群馬県子ども会育成連合会 市町村会長連絡会

県と市町村との共通理解を図るとともに、事業への協力を依頼するための標記会議である。

- ・第1回目は、平成30年6月9日に開催し、県子連委員会ごとに別れ、協議を進めた。
- ・第2回目は、平成30年12月1日の予定だったが、参加者の増が見込めないため、急遽取り止めた。

## ③郡市町村子連会長・事務担当者会議

- ・日時:平成30年4月12日(木) 午前10時～12時
- ・場所:群馬県青少年会館
- ・内容:全国子ども会安全共済会、平成30年度事業等についての説明と質疑応答であった。

## 1-3 調査研究・資料の発行・情報提供事業

### ○ぐんま子ども会の発行、配布

県下市町村地区子連に対し、県子連の運営及び事業等の理解・協力を得たり、今後の運営に対する周知とともに、各市町村の活動状況等を紹介し、子ども会活動の活性化を図るため、広報紙を発刊した。特に、平成30年度は県子連表彰を重点にし、ジュニアリーダー・ユースリーダーの状況、上毛かるた競技県大会、講習会・大会参加者の感想、市町村子連の活動などを取り入れた広報紙とした。

- ・発行日:「ぐんま子ども会」107号 平成31年3月 ・発行部数:7500部
- ・配布先:県下単位子ども会 県下小中学校 公民館 市町村教育委員会等  
青少年団体 関東ブロック地区子連 地域青少年育成アドバイザー  
子ども会育成関係者等

## 1-4 関係団体・機関・企業団体等連携事業

### ○企業・団体との共同による事業の展開

各企業・団体と共同して子ども会に有益な事業を展開し、子ども会活動の発展、社会的認知の向上、子ども会会員数の増加を目指すため、イベント等の開催への協力や、指導者の派遣を行った。

### ① 夏休み・春休み体験学習

異年齢集団での活動を通じて、旅先での修学とともに、生きる力を培い、自立心や協調性を高め

ることを目的とし、子どもたちが一緒に体験をする学習の場と、県内ジュニアリーダーの活動の場として、ぐんま子どもの旅が旅行を実施した。

研修企画 公益社団法人群馬県子ども会育成連合会

旅行企画実施 (株)ぐんま子どもの旅

・内容:夏休み体験学習

信州飯田高原キャンプ体験 30年7月21日～24日 参加数 29名

鴨川・水族館宿泊体験 30年7月26日～28日 参加数 40名

佐渡島キャンプ体験 30年7月29日～8月1日 参加数 77名

北海道少年の船 30年8月18日～22日 参加数 60名

・春休み体験学習

鴨川シーワールド水族館宿泊体験 31年3月28日～30日 参加数 58名

沖縄の自然・歴史・文化体験 31年3月31日～4月2日 参加数 32名

西表島・大自然体験と竹富島 31年3月31日～4月4日 参加数 27名

#### ① 共催、後援、派遣

・「2018年親子ふれあいクルーズ in 北海道」後援

企画主催:茨城新聞社 下野新聞社 上毛新聞社

・「トリックアート in 高崎」後援

企画主催 上毛新聞社

・「ポップサーカス群馬公演」後援

企画主催 上毛新聞社

・「拉致問題を考える講演会とコンサートの集い」後援

主催:群馬県人権擁護委員連合会等

・「群馬県人権啓発講座」後援

主催:群馬県人権啓発講座実行委員会

・「第5回邑楽郡ドッチビー大会」後援

主催:邑楽郡子ども会育成連絡協議会

### 法人会計(管理部門)

#### 1 事務局執行体制の整備と強化

① 全国子ども会連合会の研修に参加し、共済業務知識の習得をはかった。

② ホームページの充実とシステムの活用により、市町村子連との情報の共有化を推進した。

#### 2 賛助会員について

賛助会員の拡大増進を図った。

#### 3 公益社団法人群馬県子ども会育成連合会 総会の開催

平成30年度 定時総会

・日時:平成30年5月24日 午後2時～午後3時30分

・場所:群馬県青少年会館

・内容:平成29年度事業報告、決算、規定規則等の一部改正について

#### 4 公益社団法人群馬県子ども会育成連合会 理事会の開催

①平成 30 年度 第 1 回 理事会

- ・日時:平成 30 年 5 月 8 日 午後 2 時～4 時
- ・場所:群馬県青少年会館
- ・内容:(議案)平成 29 年度事業報告、収支決算、規定規則等の一部改正、総会の日時・場所・議案、

③平成 30 年度 第 2 回 理事会

- ・日時:平成 30 年 8 月 7 日 午後 2 時～3 時
- ・場所:群馬県青少年会館
- ・内容:(協議・報告)今後の県子連事業計画

④平成 30 年度第 1 回臨時理事会

- ・日時:平成 30 年 9 月 13 日 午後 1 時～3 時 10 分
- ・場所:群馬県青少年会館
- ・内容:(協議・報告)調停について、西日本豪雨寄付金について、関ブロ育成研について

④平成 30 年度第 2 回臨時理事会

- ・日時:平成 30 年 12 月 15 日 午前 10 時～12 時
- ・場所:群馬県青少年会館
- ・内容:(議案)地域青少年育成アドバイザー認定講習会にて発行する認定証の知事印について

③平成 30 年度 第 3 回 理事会

- ・日時:平成 31 年 3 月 14 日 午後 2 時～3 時
- ・場所:群馬県青少年会館
- ・内容:(議案)平成 31 年度事業計画・予算、広報委員会の設置について

**5 公益社団法人群馬県子ども会育成連合会 正副会長・正副委員長会議の開催**

①平成 30 年度 第 1 回 正副会長・正副委員長会議

- ・日時:平成 30 年 4 月 13 日 午後 1 時 30 分～13 時 30 分
- ・場所:群馬県青少年会館
- ・内容:30 年度事業について、委員会構成について

②平成 30 年度 第 2 回 正副会長・正副委員長会議

- ・日時:平成 30 年 10 月 11 日 午後 2 時～4 時
- ・場所:群馬県青少年会館
- ・内容:文部科学大臣表彰、善行会表彰について、県子連表彰式に向けて

**6 公益社団法人群馬県子ども会育成連合会 各委員会会議**

- 日時:平成 30 年 6 月 19 日 午後 2 時～4 時  
場所:群馬県青少年会館  
内容:全子連関係ブロ関係、各委員会の打ち合わせ

**7 公益社団法人群馬県子ども会育成連合会 執行理事会(正副会長定例会議)**

- 毎月第 1 木曜日(予定が合わない場合は別の日)を定例会議とし、平成 30 年度事業運営

等についてを協議した。

時間 午後 2 時～4 時 ・場所: 群馬県子連事務局

開催日	内 容
4 月 5 日	30 年度事業の推進、正副会長・正副委員長会議 郡市町村子連会長・事務担当者会議、理事会等
5 月 8 日	理事会、子ども会安全啓発初級指導者養成講習会、かるた審判部理事会、定期総会、電話相談カード作成と研修会、委員会会議、市町村会長連絡会、
6 月 7 日	安全啓発講習会、かるた審判部理事会、電話相談員打ち合わせ会、シニアリーダー養成講習会、委員会会議、関ブロ地区子連総会
7 月 5 日	関ブロ地区総会、理事監事打ち合わせ会、理事会、関ブロ JL 大会、全国中央会議・研究大会、県子連育成研
8 月 7 日	全国中央会議、第 2 回理事会、県子連育成研、関ブロ地区育成研
9 月 6 日	関ブロ JL 大会、県子連育成研、西日本豪雨寄付金、臨時理事会、上毛かるた審判講習会、上毛かるた作文コンクール審査会、平成 31 年度青少年会館利用調整会議、関ブロ地区育成研、県子連表彰、電話相談員打ち合わせ会・研修会
10 月 5 日	関ブロ地区育成研、平成 31 年度青少年会館利用調整会議、文科省表彰、善行会表彰、平成 31 年度事業日程案、県子連表彰、アドバイザー講習会再募集、臨時総会
11 月 4 日	上毛かるた審判部理事会、作文コンクール審査会、上毛かるた審判講習会、けんこれん表彰、アドバイザー講習会、電話相談員打ち合わせ会・研修会
12 月 6 日	県子連表彰、アドバイザー講習会、電話相談打ち合わせ会・研修会、広報、上毛かるた審判打ち合わせ会、上毛かるた競技県大会公開抽選会・運営委員会
1 月 10 日	上毛かるた競技県大会公開抽選会・運営委員会、アドバイザー講習会、上毛かるた競技県大会前日・当日準備
2 月 7 日	上毛かるた競技県大会前日当日準備、アドバイザー講習会
2 月 21 日	アドバイザー講習会、広報、平成 30 年度第 3 回理事会、平成 31 年度第 1 回理事会、関ブロ地区 JL 大会群馬県大会